

設 計 課 題 大学のセミナーハウス

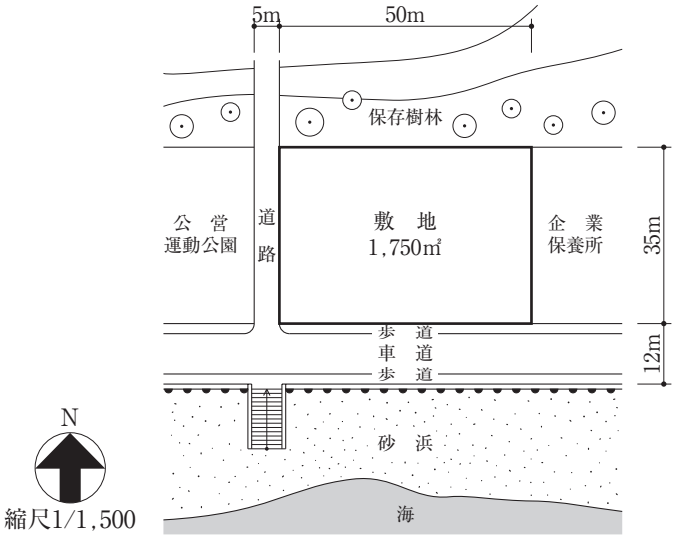
I. 設 計 条 件

この課題は、ある地方都市郊外の南側に美しい海岸線が広がる景勝地に、ある芸術大学のセミナーハウスを計画するものである。本施設は、地域住民など一般の様々な世代の美術学習・創作活動(以下「ワークショップ」という。)の場として、工房、ロビー及び屋外創作広場を開放するものである。

ワークショップにおいては、絵画教室や貝殻や木の実を使った創作実習を通じて、学生や教員が様々な世代との交流や社会貢献の場となるように計画する。

1. 敷 地 及 び 周 辺 条 件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平坦で、道路、遊歩道との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあり、建ぺい率及び容積率の制限はない。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建 築 物

- (1) 構造、階数等  
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計  
床面積の合計は、1,600㎡以上、2,000㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

| 部門                                                     | 室 名       | 特 記 事 項                                                                                        | 床面積   |
|--------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| ・適切な場所(工房を除く。)にまとまったスペースで50㎡以上の吹抜けを設け、豊かな空間となるように計画する。 |           |                                                                                                |       |
| 宿泊部門                                                   | 宿 泊 室     | ・洋室(4人部屋)を6室(1室当たり約30㎡)、和室(8人部屋)を2室(1室当たり12畳以上、その他に踏込、押入れ)を設ける。                                | 適 宜   |
|                                                        | 教員宿泊室     | ・洋室(1人部屋)を2室設ける。<br>・バス・トイレ・洗面ユニット付きとする。                                                       | 計約30㎡ |
|                                                        | ラ ウ ン ジ   | ・自動販売機を設置する。<br>・海岸線の景観を楽しめるようにする。                                                             | 約 40㎡ |
|                                                        | 洗 面 所     | ・男性用、女性用としてそれぞれ各1室設ける。                                                                         | 適 宜   |
|                                                        | 洗 濯 室     |                                                                                                |       |
| セミナー部門                                                 | 工 房       | ・造形実習室、絵画のアトリエ等として使用する。<br>・一般に開放し、ワークショップを開催する。<br>・天井高5.0m以上の無柱空間とする。<br>・収納スペース(10㎡以上)を設ける。 | 約160㎡ |
|                                                        | セミナー室(大)  | ・学生(30人程度)の合同セミナーや講演会などに使用する。                                                                  | 適 宜   |
|                                                        | セミナー室(小)  | ・2室設ける。<br>・学生(8人程度)のゼミや研修などに使用する。                                                             |       |
|                                                        | 講 師 控 室   |                                                                                                |       |
|                                                        | エントランスホール | ・風除室を設ける。<br>・下足箱を設ける。                                                                         | 適 宜   |
|                                                        | 交 流 ロ ビ ー | ・学生及びワークショップ参加者が、休憩・談話等に利用できるスペースとする。                                                          |       |
| 共用・管理部門                                                | 更 衣 室     | ・男性用、女性用として各1室設ける。<br>・主に日帰り利用者用とする                                                            | 適 宜   |
|                                                        | 食 堂       | ・テーブル、いす等を設ける。                                                                                 |       |
|                                                        | 厨 房       |                                                                                                |       |
|                                                        | 浴 室       | ・男性用、女性用として各1室設ける。<br>・各浴室に脱衣室及び便所を設ける。                                                        | 計約80㎡ |
|                                                        | 図書・資料コーナー |                                                                                                | 適 宜   |
|                                                        | O A コーナー  |                                                                                                |       |
|                                                        | 管 理 事 務 室 | ・受付カウンター及び応接コーナーを設ける。<br>・事務員は通いとし、4人分の事務スペースを設ける。                                             | 約 15㎡ |
|                                                        | 職員更衣・休憩室  | ・男性用、女性用として各1室設ける。                                                                             |       |
|                                                        | 備 蓄 倉 庫   | ・災害時の食料、飲料水、医療品等を備蓄する。                                                                         | 適 宜   |
|                                                        | 設備スペース    | ・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気等)、屋外機置場等を計画する。                                                   |       |
| ・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。                      |           |                                                                                                |       |
| ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。                            |           |                                                                                                |       |

3. そ の 他 の 施 設 等

- (1) 屋外創作広場を、次のとおり計画する。
  - ① 地上に設けるものとし、まとまったスペース(直径7m以上の円が1つ入るスペース)で100㎡以上(ピロティ、上部に屋根等がある部分は含めない。)とする。
  - ② 海岸線が望める位置に計画し、工房と一体的に利用できるようにする。
- (2) 地上に設ける駐車場は、平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。また、来館者用及び職員用の駐車場・駐輪場については、西側の運動公園内の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (3) 駐輪場は、施設利用者用として20台分を設ける。
- (4) (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 海岸線を望む景観を、眺望として積極的に取り込んだ計画とする。
  - ② 宿泊部門、セミナー部門、共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
  - ③ バリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - ② 構造種別、架構形式及びスパン割を適切に計画する。
  - ③ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
  - ② 地震等の災害時においても、一定の機能を維持できるように配慮する。
  - ③ エレベーターを適切に設ける。
  - ④ 排煙設備を適切に設ける。

II. 要 求 図 書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要 求 図 面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

| 図 面 及 び 縮 尺                          | 特 記 事 項                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 1 階 平 面 図<br>兼<br>配 置 図<br>1/200 | ① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。<br>イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)<br>ロ. 室名等<br>ハ. 要求室(エントランスホールを除く。)の床面積<br>ニ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。)<br>ホ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置<br>ヘ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。)<br>ト. 断面図の切断位置 |
| (2) 2 階 平 面 図<br>1/200               | ② 宿泊室及び教員宿泊室については、次のものを図示又は記入する。<br>イ. 各宿泊室のうち代表的な1室の室内プラン<br>ロ. 各宿泊室の出入口、パイプスペース<br>ハ. 各宿泊室の表示(洋室はA 1～A6、和室は和室(1)及び(2)、教員宿泊室は、教員宿泊室(1)及び(2))                                                                                                                                         |
| (3) 断 面 図<br>1/200                   | ③ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。<br>イ. 建築物の出入口<br>ロ. 屋外創作広場(面積を記入する。)<br>ハ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。)<br>ニ. 通路、植栽、ごみ置場等                                                                                                                                                                          |
| (4) 2 階 梁 伏 図<br>1/200               | ④ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。<br>イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路<br>ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分                                                                                                                                                                                                     |
| (3) 断 面 図<br>1/200                   | ① 切断位置は、工房を含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。<br>② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。<br>③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。<br>④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。                                                                                                                            |
| (4) 2 階 梁 伏 図<br>1/200               | ① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。<br>② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。                                                                                                                              |

2. 面 積 表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物のアプローチの計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
  - ② 工房の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
  - ③ 宿泊室の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - ② 工房を無柱空間とする構造計画について、工夫したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物に採用した空調方式と採用した理由
  - ② 地震等の災害に対する設備計画について、「設備の損傷防止」、「停電」及び「断水」の対応策を記述すること(停電や断水は3日程度を想定する。)
  - ③ 排煙計画について、配慮したこと

| 会 員 番 号 |  |  |  |  | 氏 名 | 受 験 地 |
|---------|--|--|--|--|-----|-------|
|         |  |  |  |  |     |       |